

よろしくお願いいたします。



園長 門倉 一弥

4 月 1 日付けでおおいそ学園の園長を拝命いたしました門倉です。皆様よろしくお願いいたします。

私は、おおいそ学園で仕事をさせていただくのは初めてになります。児童自立支援施設としての当園の役割をしっかりと学んでいく必要性を感じており、子どもたちの支援に当たる当園の職員及び分校の先生方をはじめ、関係する皆様からのご指導、ご助言をいただきますよう、お願いいたします。今は着任して間もない期間ですが、この間に感じていることを少し述べさせていただきます。

○ 社会的養護の担い手として

すべての子どもを社会全体で育むという社会的養護の理念のもと、児童自立支援施設は住み慣れた地域を一時的に離れる必要がある子どもたちを受け入れます。当園では、一人ひとりの子どもたちが安心感を持ち、自己肯定感を高めて地域の生活に戻る支援に努めたいと思います。

○ 子どもたちの主体性

児童自立支援施設では、生活、学習、職業等の支援が施設内で行われるため「枠のある生活」と言われます。その中で、一人ひとり子どもたちが抱える「課題」に向き合い自立を目指せるよう、子どもと

職員との信頼関係を深め、支援に当たるよう努めたいと思います。

○ 学校教育との協働

児童自立支援施設は、施設内に学校があることが特徴であり強みだと思います。子どもたちに一貫した支援を行えるよう、教育と福祉が綿密に連携し協働できるよう努めたいと思います。

○ 家族との連携

一人ひとりの子どもたちと、そのご家族との関係は、言うまでもなく大切です。それぞれに異なる事情があると思いますが、子どもたちとご家族との関係の調整にあたり、当園も児童相談所と連携し努めたいと思います。

以上、稚拙ではありますが、今の時点で感じていることを述べさせていただきました。当園に限らず、施設の運営は閉鎖的になる危険性があると思います。透明性を担保し地域に開かれた施設運営により、子どもたちの自立に向けた支援が図られるよう、関係する皆様の引き続きのご協力をお願いいたします。



～生沢分校通信～

■国府小学校生沢分校 山口 友紀子 校長

今年も相模国「国府祭（こうのまち）」の季節となりました。朝の講話でも毎年お話していますが、国府祭とは、5月5日に六つの神社が集まる祭典で、神奈川県が無形民俗文化財にも指定されています。おおいそ学園の門を出てすぐ左の神揃山（かみそろいやま）には、寒川神社、川勾神社、比々多神社、前鳥神社、そして平塚八幡宮が集まり、国家の安泰や、五穀豊穡を祈願します。また一の宮と二の宮のどちらが相模国で一番大きな神社であるかの論争を表す「座問答」も行われ、その仲裁役として三の宮が「いずれ明年まで」と言って終わるのですが、これが千年以上も続いています。ここは相模国の国府が置かれた場所で、校名もここからきています。これからもこの歴史ある地域で育つ子ども達の健やかな成長を願っています。

■国府中学校生沢分校 野口 裕美 校長

ここにいるからこそ出来たこと・出会えた人
おおいそ学園と生沢分校に来た子どもたちは、自分のいるべき場所が変わった時、不安になったり、理由を探したりしながら、他人にはわからない複雑な思いを抱えています。その中で、話を聞いてくれる大人がいつもそばにいて、努力すれば褒められ、整った生活環境にいられることは、人生をより良い方向に転換するチャンスであることに気づいてほしいと思っています。優しくされた経験があるからこそ、人は他人への優しさを学べます。誰かのために貢献できるという実感は、自分が生きる価値への信頼につながります。経験するすべてのことが人生の構成要素であることを伝えながら、子どもたちが人生の基盤を整えて自立していけるよう、教育の持つ力を信じて取り組んでまいります。

～着任の先生方の挨拶～

■ 中学部 武下 憲史 先生

4月から副園長として着任しました武下憲史です。初めてののおおいそ学園で不安や戸惑いが大きいですが、早く慣れて、子どもたちを支えていけたらと思います。よろしくお願いします。

■ 中学部 佐藤 芳昭 先生

社会科を担当する佐藤芳昭です。よろしくお願いします。皆さんといい時間を過ごせたらと思います。困ったことがあったら筋トレをしましょう。

■ 中学部 隈部 友太 先生

本年度より着任しました。英語科の隈部です。よろしくお願いします。Chance Challenge Changeを意識して一緒に過ごしていければと思います。

■ 中学部 清水 智香 先生

新しく着任しました清水 智香（しみず ちか）と申します。教科は音楽です。みんなで、日々前進できるように一緒に頑張っていきたいです。よろしくお願いします。

■ 中学部 秋山 優斗 先生

今年度、着任しました。理科を担当する秋山です。多くのことを経験していく中で、みなさんと一緒に成長していきたいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。

■ 中学部 竹野 大輔 先生

音楽を担当する竹野です！音楽以外にもスポーツやコンピュータが得意です！みなさんとたくさん話をして、楽しい学校生活にしたいなと考えています！よろしくお願いします！！

～お世話になった先生方、ありがとうございました～

□小畠 元 教頭

□清水 基 先生（理科）

□松本 裕貴 先生（英語）

□仲條 幸敏 先生（社会）

□松尾 信之 先生（音楽）

□廣田 圭佑 先生（数学）

～おおいそ学園 新任職員の挨拶～



■ 管理課 田中 紀子

令和 8 年 4 月 1 日から、おおいそ学園・管理課に配属になりました田中紀子と申します。前職の中井やまゆり園でも管理課でしたが、また、中井やまゆり園とは様子が違うようなので、早くなれるよう努めていきたいと思っています。子どもたちの支援に、間接的にでも関われたら良いかなと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

■ 管理課 看護師 川口 佳穂里

中井やまゆり園から移動して参りました川口と申します。おおいそ学園に来て、周りの森（山？）と桜の木々の鮮やかさに元気をもらい、緊張しながらもわくわくした気持ちでスタートする事ができました。看護師の関わりが、少しでも安心に繋がる様に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

■ 自立支援課 間瀬 実 梅寮長

令和 8 年 4 月から梅寮に配属となりました間瀬と申します。子どもたちとグラウンドの周りを走ったり、野球をしたり同じ時間を過ごすことや、あいさつや雑談など日常のささやかな言葉のやりとりを大切にしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 自立支援課 梅寮 青山 聡

令和 8 年 4 月から梅寮に配属となりました青山と申します。新採用職員として日々学ぶ姿勢を大切にし、子どもたちに寄り添いともに成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 管理課 田中 陽

令和 8 年 4 月から管理課に配属となりました田中と申します。初めての福祉施設勤務ということもあり、分からないことも多くありますが、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 自立支援課 中井 達也

心理職員として配属になりました。子どもたち一人ひとりの声を聴きつつ、心理的な視点で支援していきたいと思っています。走ることが好きなので、学園の広大な自然環境の中で身体を動かせたらと思っています。よろしくお願いいたします。

■ 自立支援課 桂寮 島田 洋輔

令和 8 年 4 月 1 日より桂寮に配属となりました。7 年ぶり 2 度目のおおいそ学園、桂寮となります。懐かしいところと新しいところを感じながらの日々となっています。変わらず、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。『日々努力、日々成長』を胸に務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



～各寮レポート～寮長だより～

桂寮 友田寮長

3 月に中学 3 年が 4 名、2 年が 1 名退所となり、令和 8 年度は在籍 3 名でのスタートとなりました。児童それぞれが自分なりに前向きに新たな年度をスタートさせています。新たな仲間も続々入所していくこととなりますが、前向きな良い雰囲気での生活を継続していけるよう児童職員ともに取り組んで行きます。

竹寮 渋谷寮長

年度末に中学卒業生が 6 名退所し、年度初めは中学 3 年が 1 名、中学 2 年が 2 名、中学 1 年が 1 名の計 4 名でスタートしました。さっそく新規児童も入所し、また新体制で寮生活が始まっています。児童それぞれ次の生活の場を目指しての支援を促進する 1 年となります。

梅寮 間瀬寮長

令和 8 年度 4 月の梅寮は中学生 3 名、高等部生 3 名の計 6 名です。朝食前に満開の桜のトンネルもあるグラウンド外周を子どもたちが一生懸命走る姿を見ていると、職員が元気をもらっている気がします。梅寮の日々の暮らしのなかで、社会に出ていくための力を蓄えてから巣立っていけるように、職員は子どもたちと丁寧に向き合い、耳を傾けて大事なことを「この職員になら話したい」と思ってもらえるような支援を目指します。

異動・退職された職員の方々

■園長 菅野 大史

■桂寮 田中 潤
米澤 真人

■梅寮 石原 純二
松本 佑季
玉置 凌

■地域支援グループ
山崎 敦史

■管理課 大枝 靖生
佐山佳与子

編集後記

4 月に入り、園長副園長が変わるなど体制面で大きな変化がありましたが、職員一同、児童たちと良い関係を築き、自立に向けた支援をおこなっていききたいと思います。

今後とも、おいそ学園の取り組みについてご理解、ご協力をお願い致します。

加えて、広報誌「みのり」を通じて学園での子どもたちの様子などをお伝えできればと思います。
(広報委員会)